

# 修学院小学校運営協議会だよい

第27号 学校運営協議会理事長 青木 克之 修学院小学校長 村山 雅彦  
令和5年3月22日発行 家庭数配布



春色の候、保護者の皆様には、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者のみなさまからの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。今回の結果からぜひご一緒に考えたいという点について、前期と後期の比較を交えながら紹介させていただきます。多くのみなさまのご意見を大切にし、今後の修学院の教育に活かしてまいります。

貴重なご意見に感謝いたしますと共に、さらなるご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

学校安全環境委員会

学び支援委員会

開かれた学校委員会

前回の学校運営協議会だよりでお知らせした通り、今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、例年行っている活動や取組を中止となりましたが、運動場や体育館まわり北校舎と本館の間の手すりのペンキを塗りました。とても素敵な雰囲気に変わりました。また、学び支援委員会を中心に、6年生の茶道体験も実施し、子どもたちも喜んでいました。

来年度こそは、『きらら給食』や『本のリユース』など、子どもたちも楽しみにしている取組ができるることを願っています。

様々な取組が中止となる中で、同窓会の方々の協力のもと、体育館前の築山を清掃していただきました。

感染症対策はまだまだ油断ができない状態です。くれぐれも、体調管理をしっかり行っていただき、ご自愛ください。

## 修学院探訪

### 洛北・洛南・洛西の「洛」って？

延暦13（794）年、長岡京から平安京に遷都し、平安時代が始まります。平安京は、中国の長安の都を手本に造られましたので、左京を「洛陽城」、右京を「長安城」と呼びました。当時は、天皇を中心とする政治が行われ、御前会議で南を向いて着座するのは天皇だけであったため、天皇の左側（東）を左京、右側（西）を右京としました。その右京は、都の道路や宅地などを区画したものの、桂川の度重なる氾濫で土地が大いに荒れ、人々は、徐々に東に位置する左京へと移り住みました。そのため、左京の人口は急速に増加し、都の中心になったのです。京都市に来ることを「入洛」、京都の北方を「洛北」と呼ぶのは、もともと、左京が「洛陽城」と呼ばれていたことに起因します。（小池 寛）

## 開かれた学校委員会 コミュニケーションシート（学校アンケート）より

今年度も、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの行事や取組を例年とは異なり、実施可能な形を模索しながらの実施となりました。

そんな中でも、運動会や学習発表会、授業参観・懇談会など、保護者の皆様のご理解や協力を得て実施することができたことは、大きな喜びでもありました。アンケートも、なかなか評価しにくいところもあったとは思いますが、お子たちの様子を見ながら評価していただき、感謝申し上げます。

学校運営協議会の『開かれた学校委員会』において、昨年度、および、前期のアンケート内容と比較しながら、アンケートの結果分析を行いました。アンケート結果を基に、今後の学校の取組に活かしてまいります。

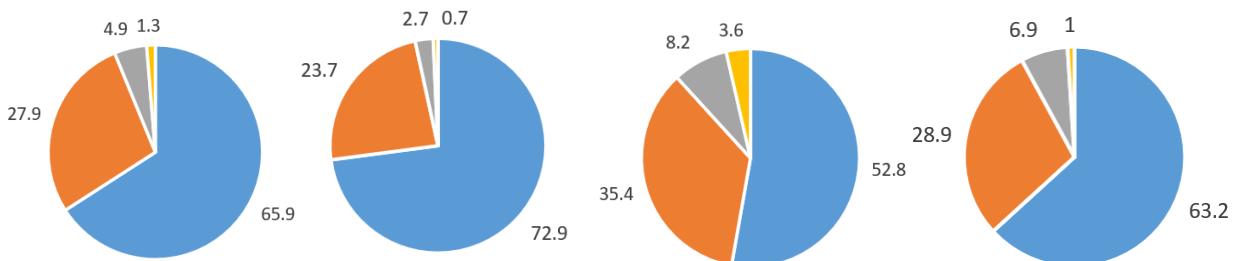
学校運営協議会だよりでは、『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の各項目から抽出してお知らせさせていただきます。また児童や保護者の方の結果の数値（%）だけではなく、実際に保護者の皆様からいただいた、自由記述にも検討課題があると考え、今回は自由記述の内容を中心に検討した結果をお知らせさせていただくことといたしました。

### 確かな学力定着に向けて

#### ＜結果＞

前期同様、全ての項目において、肯定的な評価を得ることができます。

特に、低学年の『進んで学習し、学校生活を楽しく過ごしている』では7%、『目標をもち、自分の力を伸ばせるよう努力している』では10.4%、「よく出来ている」と答える児童の割合が上がりました。



前期

後期

進んで学習し、学校生活を楽しく  
過ごしている。

前期

後期

目標をもち、自分の力を伸ばせる  
よう努力している。

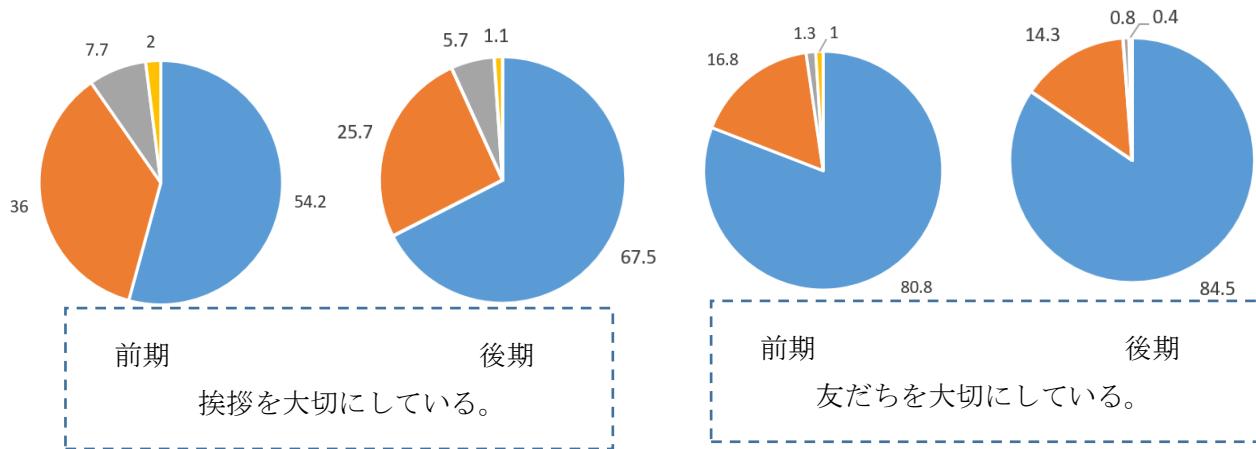
#### ＜分析＞

すべての項目において肯定的な評価が多いのが、毎年の修学院小学校の特徴です。今年度は、低学年の学習意欲の高まりが顕著に見られる結果となりました。学校生活にも慣れ、自分の目標をもって学習に取り組めることは大変うれしいことです。今後も、一人一人のニーズを大切にしながら、学習保障を進めてまいります。

# 豊かな心を育むために

## ＜結果＞

前期同様、全ての項目において、肯定的な評価を得ることができます。特に、高学年の『挨拶を大切にしている』では13.3%、『友だちを大切にしている』では3.7%、「よく出来ている」と答える児童の割合が上がりました。



## ＜分析＞

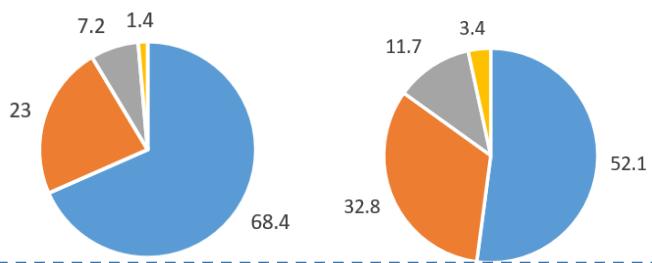
高学年の児童が、校内で積極的に挨拶する姿が見られます。高学年の児童から、学校全体に挨拶の輪が広がりつつあります。挨拶することで友だちの輪が広がり、友だちを大切にする心も深まってきたのではないでしょうか。高学年がよい手本を見せてくれていることを嬉しく思います。

# 健やかな体で楽しい毎日を

## ＜結果＞

前期同様、ほとんどの項目において、肯定的な評価を得ることができます。

しかし前期・後期通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の項目で、「出来ていない」と答える児童の割合が、低学年・高学年ともに1割程度います。



## ＜分析＞

子どもたちは、下校後も学校の宿題や習い事などで忙しく過ごしていたり、テレビや携帯等を長時間使用していたりして、生活リズムを崩している児童もいるようです。

児童の成長には、『早寝・早起き・朝ご飯』をはじめ、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適切な運動など規則正しい生活習慣が大切です。今一度、子どもたちの生活リズムについて確認していただけますと助かります。

## 自由記述より

※紙面の関係上、ご意見が多数の場合や、文章表記について、一部省略・加筆等させていただいております。

◇とても楽しそうに登校しています。先生のこともよく話してくれ、とても好感がもてます。個人懇談会で、子どもの学校での様子を聞くことができ、先生が子どものことを理解してくれていると思えたので有難かったです。

⇒大変うれしいお言葉ありがとうございます。今後とも、子どもたちの様子を丁寧にみとり、子どもたちの様子を保護者の皆様へ積極的に伝えていきたいと思います。

◇子どもたちが安全に学校生活を送れるように指導はきちんとしてくださっていると思いますが、暗く狭い廊下に物が置いてあるのが気になります。またトイレが汚いとよく耳にします。

⇒今年2月に、教室や廊下等の電気がLEDに変わり、教室や廊下等の明るさについては改善されつつあります。引き続き、教室や廊下等の環境整備は、子どもたちの安全な学校生活を保障する上で重要だと考えております。来年度も、教職員全員でしっかりと点検し改善いたします。

◇京都市の学校では、一人一台GIGA端末（タブレット）が導入されたと聞いています。修学院小学校でも、積極的にGIGA端末を活用した学習活動を進めていただきたいと思っています。

⇒本校でもGIGA端末を積極的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っていきます。本校教職員もGIGA端末の活用の仕方について、研修・議論を重ね、子どもたちの学習に活きるように取り組んでまいります。

## 開かれた学校委員会から

修学院小学校学校運営協議会「開かれた学校委員会」では、年2回、児童と保護者のみなさまへ学校評価アンケートを実施しています。保護者の自由記述欄には、建設的な問題提起も多々ありますが、先生方の学習指導や学校生活での児童の見守りなどについて、感謝を伝えるコメントも数多く見受けられました。児童・保護者・学校に確かな信頼関係が構築されていることを各委員が強く感じることができました。

**【確かな学力】** 保護者の預かり金からの一部充当によって運用されているタブレット活用をもっと積極的に進めてほしいとの意見がありました。教科書による教員の対面授業が基本であるとは思いますが、授業の補完や自宅学習での活用を進めていただきたいと思います。

**【豊かな心】** あいさつや友達を大切にし、ルールや約束を守ること。そして、お互いの頑張りや良さが分かり合える学級運営になっているなど、いずれも「よくできている・だいたいできている」との回答が、なんと90%を占めています。このことを学級運営の基礎として、さらなる取り組みにチャレンジしてください。

**【健やかな体】** 早寝・早起き・朝ごはんを大切にできていないと答えた児童は、10～15%を占めます。特に、朝食は成長期にあって極めて大切なことです。改めて、その大切さを啓発して下さい。

学校運営協議会は、今後とも学校運営や教育活動を応援して参ります。（協議会理事 小池寛）